

No.
138

北里大学病院ニューズレター
「窓」

Mado



診療科紹介 一般・消化器外科（上部消化管外科）

胃は食事を貯める袋か？

診療科紹介

一般・消化器外科
(上部消化管外科)

胃は食事を貯める袋か？

北里大学病院 上部消化管外科 科長
北里大学医学部 上部消化管外科学 主任教授
北里大学医学部大学院医療系研究科 科長

比企 直樹



われわれ北里大学病院上部消化管外科は、食道癌、胃癌や胃のGIST（胃粘膜下腫瘍）に加えて十二指腸癌や十二指腸GISTの治療を積極的に行っています。治らないと言われた癌を治すことが出来た時、残せないと言われた臓器を残せた時、癌手術療法後に術後障害に悩んでいる患者さんの苦しみを取り除くことが出来た時、われわれは喜びを覚えます。そして、そのような時の患者さんと共に喜びを分かち合える瞬間を楽しみに毎日治療に励んでいます。本稿ではそんな瞬間のご説明をしたいと思います。

治らないと言われた癌を治す

山梨の患者さんのお嬢さんからセカンドオピニオンの相談がありました。「61歳の父は進行胃癌で、大動脈の周りにリンパ節転移があり、手術が出来ないと主治医に言われました。予後はこのままだと3ヶ月、化学療法をしても数ヶ月延びるだけ。」その話を聞いて、まずは外来でCTを拝見すると、大動脈周囲のリンパ節は腫れていました。われわれはそのような症例に対して、術前化学療法を積極的に行うことで、癌の勢いを弱らせて、その後に胃癌を大動脈周囲のリンパ節共々切除するという方針を取っています。この治療方針はJCOGという臨床試験グループでも良好な予後が示されており、決してこの様な患者さんに治療を諦めるという選択肢はないとわれわれは考えています。ちなみに現在もその患者さんは再発せずに元気に通院を続けられています。この様に、一度諦められた癌治療をもう一度丁寧に拝見し、薬物治療や手術療法を内科の先生と力を併せて上手に行うことが重要だと思っています。

残せないと言われた臓器を残す

われわれの外来にセカンドオピニオンでこられる患者さんで最も多いのが、「胃癌で胃全摘をしなければならぬといわれましたが、何とか残せませんか？」といった、臓器を残せないかという相談です。胃を全部取りますと言われてセカンドオピニオンで北里大学病院上部消化管外科を訪れた患者さん場合の多くが胃を残せると言っても過言ではありません。「胃を全部取る」という胃全摘は本当に術後に苦しみ残す術式です。胃全摘術後には体重は10-15%減り、筋肉も5%以上減ります。何よりもご飯が食べられなくなり、美味しく食事を摂れなくなることで、食事という行為が楽しくなくなります。われわれは、たとえ癌が治ったとしても、食事の楽しくない人生などあり得ないと思っています。

「なぜ？われわれが癌を治しつつ胃を残すことが出来るか？」その理由は、胃をどれくらい大きく残すか？ということは重要ではなく、胃の食べることを司る重要な部位に注目し、癌のために胃を大きく切除したとしても、食べることを司る重要な部位だけは残すことで術後ご飯を美味しく、楽しく食べられることがわかりました。ここにこだわることで、術後は癌を治し、幸せな人生を美味しい食事と共に送れる患者さんが増えたのです。

胃の上の方（穹窿部、胃体上部といいます）より分泌するグレリンというホルモンは、脳に指令を送り食

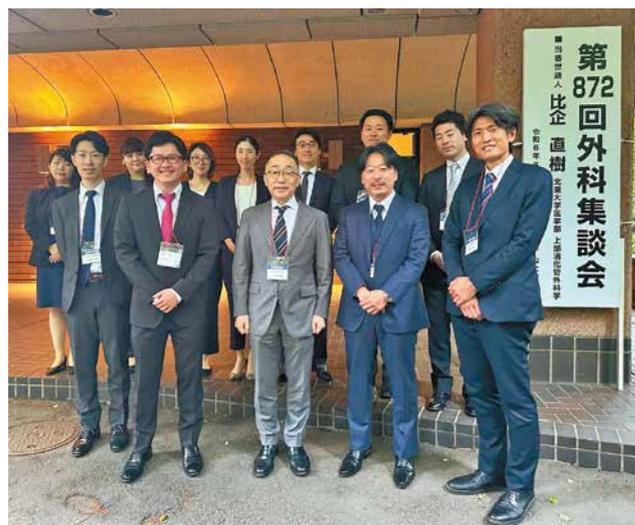
欲を司ります。更には成長ホルモンという筋肉を育てるホルモンの分泌を刺激します。筋肉（骨格筋といいます）はがんと戦うための栄養の銀行とも言われ、これが少なくなり、筋肉が減ると抗がん剤などの癌に対する薬物治療もうまくいかなくなります。つまり、グレリンは筋肉を保ち癌治療の継続などにも役立つ重要なホルモンなのです。

癌手術療法後に術後障害に悩んでいる患者さんの苦しみを取り除く

前述の胃全摘後や胃切除後では食事が食べられなくなるだけではなく、ダンピング症候群という病態に苦しむことがあります。これは胃がなくなると（または小さくなると）食事が小腸にダンプカーが砂利を落とすが如く食事が流れ込むことにより起こる病態です。



このダンピング症候群で最も問題なのは「低血糖」です。血の中の糖はもっとも使いやすい人間が生きるためのエネルギー源です。これが少なくなると生命の危機すら生じるのです。67歳男性、10年前に胃全摘を都内のハイボリュームセンターで施行され、癌は治ったから外来フォローアップは終了された方でした。ただ、体重減少が激しく、筋肉も極端に痩せてしまい、座っていることすら保持出来ないという訴えでした。この方に持続的に血糖をモニタリングできる装置をつけて、血糖をモニタリングすると、生死に関わる低血糖が生じていました。この患者さんに最もゆっくりと血糖を上昇させる栄養剤をゆっくり飲んで頂くことをしたところ、現在は元気に独歩で外来に通ってこられるようにまでなり、大変感謝して頂いております。



上部消化管外科学スタッフ：第872回外科集談会

このように、患者さんの喜ぶ顔を見ることが出来る瞬間、われわれは医師として大きな幸せを感じます。



北里大学医学部 外科HP

地域の医療関係者の方へ

当科では「根治性と機能温存を両立した胃全摘を回避した新規術式」の研究開発に尽力しており、新規術式（Appetite Preserving Gastrectomy）を開発しました。本術式は、グレリン産生領域である穹窿部を温存することで術後のQOL改善を見込んだ術式になっております。今後は、先生方から胃癌および食道胃接合部癌に対して胃全摘をご検討されている患者さまを一度、当院にご紹介頂ければ幸いです。

Profile / 比企 直樹 (ひき なおき)

- 1990年3月北里大学医学部卒業、1990年4月～1993年1月東京大学医学部附属病院分院第3外科学教室医員（研修医）、1992年7月～1993年1月ドイツ・ウルム大学一般外科学教室（臨床研究フェロー）へ渡航、1993年2月～1993年2月東京大学医学部附属病院分院第3外科学教室医員、1995年4月～1999年3月東京大学大学院医学系研究科（外科学専攻）博士課程、1995年10月～1997年10月ドイツ・ウルム大学一般外科学教室（臨床研究教育指導）へ渡航、1999年4月～2001年3月東京大学医学部附属病院分院第3外科学教室助手、2001年4月～2005年3月東京大学医学部附属病院胃食道外科医員、2005年4月～2018年12月公益財団法人がん研究会有明病院・消化器外科医員、2011年7月～徳島大学消化器外科 臨床教授、2013年8月～2018年12月公益財団法人がん研究会有明病院・消化器外科 胃外科担当部長、2016年6月～2018年12月公益財団法人がん研究会有明病院・機器開発センター長兼任、2019年1月～北里大学医学部上部消化管外科学主任教授、2021年7月～北里大学病院 副院長（人事・労務担当）、2022年4月～北里大学病院 栄養部部長併任、2023年1月～北海道大学大学院医学研究院 客員教授、2024年7月～北里大学医学部大学院医療系研究科 科長併任、現在に至る



北里大学病院公式X(旧Twitter)を始めました

当院の最新情報やイベント情報を発信していきます。ぜひご覧ください。

https://twitter.com/kitasato_hosp



医療機関専用のご予約について

医療機関専用電話 (担当) トータルサポートセンター・事務

☎ 042-778-9988

受付
時間

月～金 午前8時30分～午後4時30分
土(第1・3・5) 午前8時30分～午前11時

事前予約サービス(診察予約)ご利用対象の診療科

2024年9月1日現在

消化器内科(上部・下部・胆膵・肝臓)

糖尿病・内分泌代謝内科

循環器内科

腎臓内科

脳神経内科

リウマチ膠原病・感染内科

呼吸器内科

血液内科【完全予約】

脳神経外科

眼科

【完全予約】

●10歳以下の小児・弱視斜視限定

●11歳以上の斜視神経専門または神経眼科限定

泌尿器科

●前立腺癌で放射線密封小線源療法を希望する患者限定

産科

●ハイリスクの患者限定

婦人科【完全予約】

一般・消化器外科

●上部消化管外科疾患 ●下部消化管外科疾患

小児科

乳腺・甲状腺外科

●乳腺外科限定【完全予約】

※申込書及び手順につきましては病院ホームページ(<https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/concern/introduction/index.html>)をご覧ください。

※完全予約以外は紹介状を持参の上、直接ご来院もしくは「予約センター：当院の診察券をお持ちの患者専用」にてご予約をおとりいただくことも可能となっております。なお、眼科の上記疾患以外のご予約については、患者さんから直接、予約センターにご連絡ください。受診日をご案内します。(予約センター：042-778-8855)

※ご紹介用の「外来担当表」は病院ホームページ(https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/download/section/department/gairai_syokai.pdf)に毎月掲載しております。

検査サービス

2024年9月1日現在

生理検査

MRI検査

核医学検査

CT検査

PET-CT検査

内視鏡検査

※申込書及び手順につきましては病院ホームページ(<https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/concern/kensa/index.html>)をご覧ください。

セカンドオピニオン・オンラインセカンドオピニオン

2024年9月1日現在

医療機関からの申込制となっております。

※申込書及び手順につきましては病院ホームページ(https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/visitor/gairaishinryo/second_opinion.html)をご覧ください。

